

実質化した人・農地プランの概要

釜石市ホームページ <https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2019100100167/>

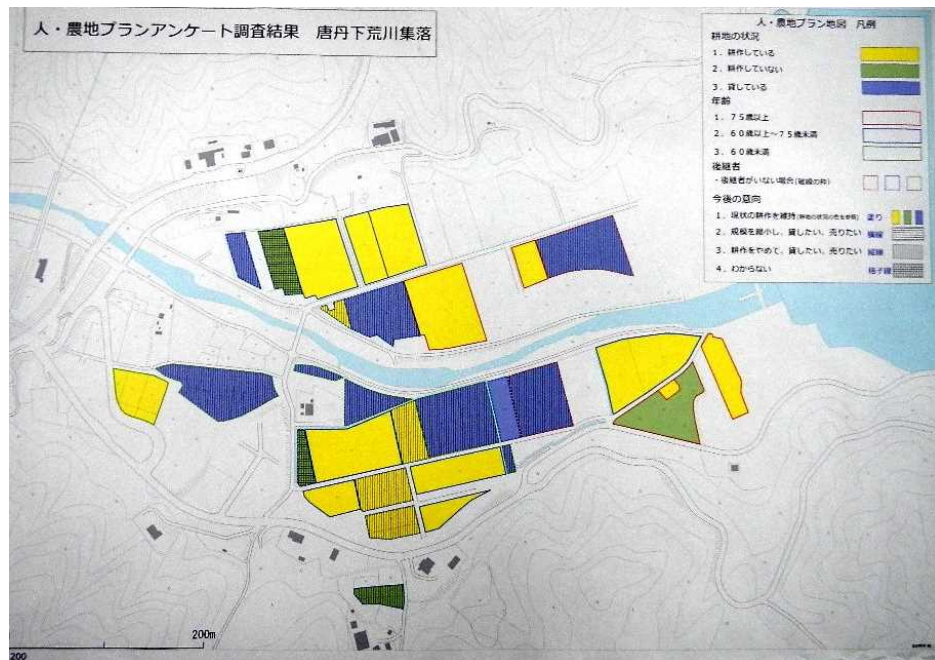
岩手県釜石市
唐丹下荒川地区

中山間
農業地域

対象地区の状況

地区内の耕地面積	7.5ha
75歳以上の農業者の耕作面積	1.6ha
うち後継者未定	0.4ha
うち後継者不明	0.0ha
中心経営体	4経営体
現状の経営面積	3.6ha
今後の経営面積	4.2ha
今後の引受意向（拡大分）	0.6ha

年齢分布図面



対象地の課題

- ・ 水稲＋野菜の複合経営を基本とし、中心経営体に農地の集積を図りながら東日本大震災の復旧農地の維持・管理を実施していくことが今後の課題。
- ・ 今後中心経営体が引き受ける意向のある農地の他に、75才以上で後継者未定の農業者の農地があることから、新たな農地の受け手の確保が必要。

将来方針

- ・ 農地利用は、中心経営体である農業者4経営体が担うほか、今後農地の貸付意向のある農地は、4経営体のうちの2経営体（入作）が担うことで対応していく。

将来方針を実現するための取組方針

- ・ **農地中間管理機構の活用**
所有者は出し手・受け手にかかわらず、農地を機構に貸し付けていく。中心経営体が病気や怪我等で営農の継続が困難になった場合は、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
- ・ **基盤整備への取組**
東日本大震災で被災した農地の復旧に区画整理事業を実施し、既に生産効率の向上や農地集積・集約化が図られていることから新たな基盤整備は行わず、既存の農地・水路の維持・管理に努める。
- ・ **新規・特産化作物の導入**
平成25年度に「被災地域農業復興総合支援事業」で導入した水稲の共同利用機械を活用し、「唐丹地区営農組合」を中心とした米の生産に取り組むほか、加工トマトやカボチャ等の土地利用型作物の生産に取り組む。
- ・ **耕作放棄地の解消・再生利用**
現時点では集落内の農地は適正に管理されている。今後も多面的機能支払交付金等を活用し、農地の維持管理を行い、耕作放棄地化を未然に防ぐ。
- ・ **鳥獣被害防止対策の取組**
電気牧柵を活用し、鹿を中心とした対策を実施するほか、地域の猟友会と連携した捕獲体制の構築等に取り組む。